

ワクチン接種における在日米軍従業員に関する要請概要について

要請日時：令和3年11月16日（火）

要請者：横須賀市長

要請先：デジタル庁

要請内容：別紙要請書参照

要請時の発言等

1. デジタル庁 牧島デジタル大臣

「課題の解決は、省庁間での連携が必要となるが、ワクチン接種記録システム（VRS）の部分はデジタル庁で責任をもって取り組んでいく。現在一つ一つ課題の整理を行っているところであるが、そうした課題が整理されれば、VRSへの登録はデジタル庁としてしっかり対応したい。」

以 上

ワクチン接種における在日米軍従業員に関する要請

新型コロナウイルス感染症のワクチンについて、令和3年6月より、在日米軍による在日米軍従業員への接種が可能となりました。

この方法により接種した横須賀基地の従業員は、約3,400人にもものぼります。

緊急事態でさまざまな対応が求められる中、安全保障上、基地の安定的使用を鑑みて、大変有効な判断であったと捉えています。

しかし、この数か月で状況は目まぐるしく変化し、結果として、在日米軍で接種した方と国内で接種した方との間に対応の差が生じています。

接種方法に違いがあっても、制度導入を決めたのは、同じ日本政府です。

ワクチン接種を巡るさまざまな政策の中で、接種方法の違いにより、在日米軍従業員に不利益が生じないよう、国内法の改正等も含め、ご検討をお願いいたします。

令和3年（2021年）11月16日

デジタル大臣 牧島 かれん 殿

横須賀市長 上 地 克 明